

# 医療機関等との関係における 透明性ガイドライン

日本アルコン株式会社

## I. 目的

アルコンは、革新的な製品を通じて人々によりよい視界を提供し、人々の生活の改善に寄与することが我々の使命であると考えます。眼科領域において未だ満たされていない医学的ニーズに応えていくためには、大学等の研究機関・医療機関等との連携協力が不可欠ですが、この連携活動の中では、医療機関・医療関係者への対価として金銭等の支払いが生じる場合もある。これらの活動にあたっては高い倫理性が求められ、患者および社会からの信頼を獲得するために、透明性をより高めることが必須であると認識している。

そこで、日本アルコンは医療機関ならびに医療担当者等との交流に関する透明性の指針を明確にし、お互いの独立性と透明性を確保するという趣旨から「医療機関等との関係における透明性に関するガイドライン」を策定した。

## II. 行動基準

日本アルコン株式会社として実施するあらゆる活動は、「医療担当者に対する製品プロモーションおよび交流に関するポリシー（AP3）」、業界自主基準等（医機連 医療機器業プロモーションコード、製薬協 医療医薬品プロモーションコード、各種公正競争規約等）および関連法規に則り、医療機関・医療担当者等との関係の透明性を確保しなければならない。

## III. 公開方法・公開時期

公開は、2013 年度分を 2014 年度から行う。それ以降は、前年度分の資金提供について、日本アルコン株式会社の決算終了後にウェブサイトを通じて公開する。

#### IV. 公開対象と内容

公開する対象は、「研究費開発費等」、「学術研究助成費」、「原稿執筆料等」、「情報提供関連費」、「その他の費用」とし、その公開内容は次の通りとする。

##### A. 研究費開発費等

研究費開発費等には、公的規制のもとで実施される各種試験、報告、調査等（臨床試験、治験、製造販売後臨床試験、不具合・感染症症例報告、製造販売後調査等）及び日本アルコン株式会社が独自に行う調査等の費用が含まれる。

- ・ 共同研究費： 年間総額
- ・ 委託研究費： 年間総額
- ・ 臨床試験費： 年間総額
- ・ 製造販売後臨床試験： 年間総額
- ・ 副作用・不具合・感染症症例報告： 年間総額
- ・ 製造販売後調査等： 年間総額

##### B. 学術研究助成費

学術研究の振興や研究助成を目的として行われる奨学寄附金、一般寄附金、および学会等の会合開催費用の支援としての学会寄附金、学会共催費用が含まれる。

- ・ 奨学寄附金： ○○大学○○教室：○○件○○円
- ・ 一般寄附金： ○○大学○○教室：○○件○○円
- ・ 学会寄附金： 第○回○○学会（○○地方会・○○研究会）：○○円
- ・ 学会共催費： 第○回○○学会（○○セミナー、ランチョンセミナー等）：○○円

##### C. 原稿執筆料等

自社医薬品及び自社医療機器に関する科学的な情報等や適正使用に関する情報等を提供するための講演や原稿執筆、コンサルティング業務委託に関する費用が含まれる。

- ・ 講師謝金： ○○大学（○○病院）○○科○○教授（部長）○○件○○円
- ・ 原稿執筆料・監修料： ○○大学（○○病院）○○科○○教授（部長）： ○○件○○円
- ・ コンサルティング等業務委託費：  
○○大学（○○病院）○○科○○教授（部長）： ○○件○○円

##### D. 情報提供関連費

医療担当者に対する自社医薬品の科学的な情報提供および自社医療機器の適正使用、安全使用のために必要な講演会、模擬実技指導、説明会等の費用が含まれる。また医薬・薬学関連文献・医療工学関連文献等の提供費、ボールペン、その他サービス品、ギミック等の費用が含まれる。

- ・ 講演会費： 年間の件数/総額
- ・ 説明会費： 年間の件数/総額

- ・ 医学・薬学関連文献・医療工学関連文献等提供費： 年間の総額

E. その他の費用

社会的儀礼としての接遇等費用、交通費、飲食費、慶祝、香典・供花等の費用が含まれる。

- ・ 接遇等費用： 年間の総額

以上